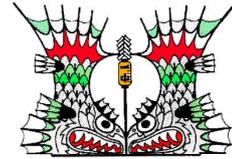




一中われら

第13号
11月14日発行
文責 校長



【校是】

覇気

【学校教育目標】

未来を主体的に切り拓いていくことのできる、
覇気ある生徒の育成

ふるさとを創る会、能代のために何ができるか

11月10日の5, 6校時に「ふるさとを創る会」を行いました。2学期の総合的な学習では、1年生は「風の松原」をテーマに自然や歴史、文化について、2年生は「能代の食」をテーマに白神ネギ、梨、ハチミツ、ヤツメウナギなどについて、3年生は「エネルギー」をテーマに風力発電やバイオマス発電などについて各所を訪ね調査や体験活動をしてきました。

「ふるさとを創る会」では、まず最初に活動の総まとめとして調べたことを学年ごとにプレゼンで紹介し合いました。1年生は最初の経験でしたが、堂々と立派に発表できました。発表を聞く側からは、「へー」「なるほど」といった共感の声や、励ましの声が相次ぎ、温かな雰囲気広がりました。

紹介の後は全校討議。「能代のために、今、自分ができること」「将来、やってみたいこと」について最初にグループごとに、次に全校で話し合いました。「住み続けるためにボランティアに積極的に関わりたい」「能代のよさを知ることがまず大切。知ること好きになる」「SNSなどでよさを発信していきたい」「将来、イベントを開催する側となり盛り上げたい」など建設的な意見が数々出されました。

ふるさと能代を想う熱い気持ちが伝わってきました。さすが一中生です。



発表の様子



グループ協議の様子

男女混合名簿の使用

男女を混ぜて五十音順に出席番号を割り振る動きが全国で進んでいます。何をするにも男子の出席番号1番から始まって、その後に女子が続く。小・中とそういうことを繰り返す中で、男子中心の価値観が刷り込まれていく。男女分けなく

てもいいものについてはあえて分けないという取組です。本校でも11月から移行していくことにしました。もちろん、健康診断や100m走の順番など分ける理由があるものは従来どおりです。身長順の並びも（いやな生徒もいるので）見直し、集会では男女混合名簿順に並ぶことにしました。旧来の習慣を「それでいいの?」と考えていくことは大切だと思います。